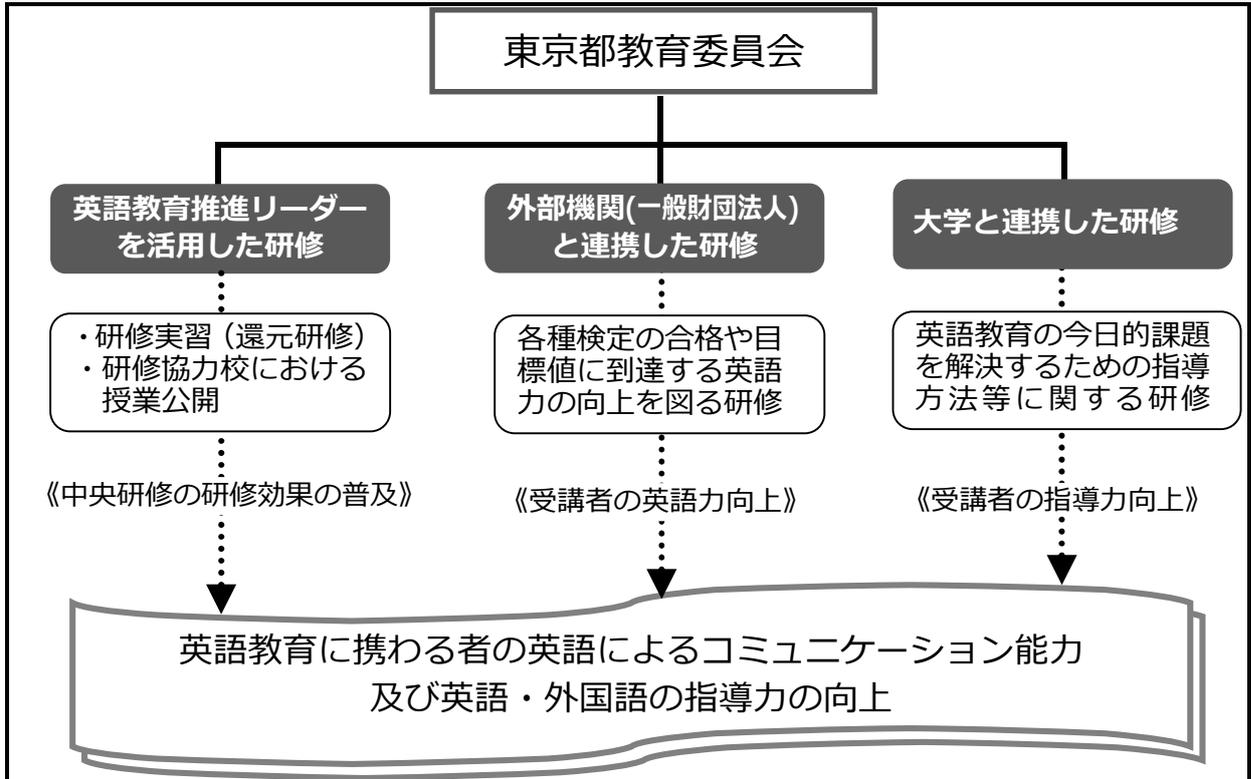


東京都英語教育改善プラン

1. 実施内容

(1) 研修体制の概要



(2) 英語教育の状況を踏まえた目標管理

1 数値目標

(1) 高等学校及び中学校

① 求められる英語力を有する教師の割合 (%)

東京都は平成 26 年 12 月に「東京都長期ビジョン」を策定し、「世界をリードするグローバル都市の実現」を都市戦略に掲げた。そして、その政策指針として、「東京、そして日本を支える人材の育成」を掲げ、平成 32 年までに「英検準 1 級、TOEFLiBT80 点以上」の英語能力をもつ英語科教員の割合を高等学校で 85%以上、中学校で 60%以上となることを目指している。

平成 27 年度は、高等学校の目標値を 70%、中学校の目標値を 45%に掲げ、研修体制の充実に向け取り組んだ。平成 28 年度は平成 27 年度の結果を踏まえ、高等学校の目標値を 75%、中学校の目標値を 50%として研修体制の充実等に取り組む。

② 求められる英語力を有する生徒の割合 (%)

前掲の「東京都長期ビジョン」において、東京都は、おおむね 10 年後までに「高校卒業段階で、日常生活に必要な英語力(英検準 2 級程度)を習得」させることの実現を目指しており、生徒の英語力向上を図る研修の充実を一層推進している。国が示した目標値「高校卒業段階に英検準 2 級～2 級程度以上 50%」「中学卒業段階に英検 3 級程度以上 50%」を踏まえ、平成 27 年度は、高等学校の目標値を 40%、中学校の目標値を 53%とし、取組をすすめた。平成 28 年度は平成 27 年度の結果を踏まえ、高等学校の目標値を 45%、中学校の目標値を 56%として授業改善等に取り組む。

③ 学習到達目標の整備状況(設定・公表・達成状況の把握)

東京都教育委員会は、平成 24 年 2 月に新たに策定した「都立高校改革推進計画第一次実施計画」に、「都立高校学力スタンダード」策定事業を掲げ、平成 25 年 3 月に具体的な学習目標を示した「都立高校学力スタンダード(平成 25 年度版)」を作成した。また、新たに精査・改訂された平

成 26 年度版では、「現代文 B」、「世界史 A」、「数学Ⅱ」等、8 科目の中に「コミュニケーション英語Ⅱ」を加え、内容の充実を図っている。英語科における学習到達目標、いわゆる CAN-DO 形式での整備状況となると現状としては高い数値とは言えないが、平成 27 年度は、学力スタンダードを実施する全ての都立高校において高校入試等の分析結果や前年度の学力スタンダード学力調査問題分析結果に基づき、自校の「学力スタンダード」を作成させ、HP に公表させている。学習到達目標の設定、公表、達成状況の把握目標値としては、平成 27 年度は、高等学校及び中学校で 30%、平成 28 年度は、高等学校で 70%、中学校で 40%を設定している。

④ 生徒の授業における英語による言語活動時間の割合 (%)

平成 26 年度の結果を踏まえ、平成 27 年度は高等学校の目標値を 42%、中学校の目標値を 65% に設定し、取り組んだ。平成 28 年度は、平成 27 年度の結果を踏まえ、高等学校の目標値を 53%、中学校の目標値を 80%に掲げ、授業改善・指導力向上研修の充実を図る。ペア・ワークやグループワーク等を含めて、生徒が英語で言語活動をしている時間の、1 単位時間の授業に占める割合の増加を図る。

⑤ パフォーマンステストの実施状況

平成 28 年度の「スピーキングテスト」及び「ライティングテスト」については、高等学校及び中学校ともに、テストの総合計数を全学科数で除した値の目標値を「4」に掲げ、取り組む。

今後、指導に必要な英語力を身に付けさせる研修を一層充実させるとともに、外部機関との連携を図り、「話すこと」及び「聞くこと」における外国語（英語）表現の能力を評価するパフォーマンステストの実施回数を増やす。

⑥ 英語担当教員の授業における英語使用状況 (%)

現状を踏まえ、平成 28 年度は高等学校の目標値を 80%、中学校の目標値を 75%に設定し、取り組む。英語担当教員が授業において発話をおおむね、あるいは半分以上を英語で行うことができるよう、今後は、教員を対象とした外部検定試験の受験を支援していくなど、教員の英語力向上研修の充実を図る。さらに、授業改善・指導力向上研修を充実させ、どの科目においても英語の使用割合を増やす。

⑧ 英語担当教員に対する研修実施回数

平成 27 年度は、高等学校教員を対象に延べ 30 回の研修を実施し、延べ 1,514 名が受講した。また、中学校教員を対象に延べ 35 回の研修を実施し、延べ 706 名が受講した。

平成 28 年度は、高等学校教員を対象に延べ 109 回の研修実施及び延べ 3,500 名の受講を、中学校教員を対象に延べ 116 回の研修実施及び延べ 4,700 名の受講を目標として、研修機会と内容の充実に取り組む。

(2) 小学校

⑧ 小学校教員に対する研修実施回数

平成 27 年度は、小学校教員を対象に延べ 30 回の研修を実施し、延べ 830 名が受講した。平成 28 年度は、小学校教員を対象に延べ 131 回の研修実施及び延べ 4,400 名の受講を目標として、研修機会の拡大と内容の充実に取り組む。

(3) 研修の体系と内容の具体

1 研修の体系と内容の具体

① 研修について

ア 平成 29 年度までの計画

	平成 28 年度	平成 29 年度
開設講座数 (研修実習含)	70	80
受講予定数	3,825	4,075
連携機関等	イに記載のとおり	未定
英語力評価テスト	実施(受験予定数 955)	実施(受験予定数 955)

イ 平成 28 年度計画

研修名	受講対象	目的・内容	研修回数	受講予定数	連携機関等
外国語活動Ⅰ	小・特	具体的な教材や授業展開、基本的な指導法、学習評価について学ぶ。	3	35	津田塾大学
外国語活動Ⅱ	小・中・特	教科化を見据えた外国語活動の指導法を理解し、授業づくりの具体的な展開について学び、外国語活動の指導力の向上を図る。	2	200	文部科学省及び大学等
外国語活動Ⅱ	小・中・特	教科化を見据えた外国語活動の指導法について、模擬授業などを通して学び、外国語活動の指導力の向上を図る。	2	50	大学等
英語Ⅰ	中・特	中学校学習指導要領の目標及び内容等を理解し、中学校における基本的な授業展開や指導法、学習評価について学ぶ。	3	50	大学等
英語Ⅰ	高・特	高等学校の学習指導要領の目標及び内容等を理解し、基本的な授業展開や指導法、学習評価について学ぶ。	3	30	大学等
英語Ⅱ	中・特	4技能を育成する指導法や授業づくりの理論について学び、中学校英語の指導力の向上を図る。	2	30	大学等
英語Ⅱ	中・特	4技能を育成する指導法や授業づくりについて、実践を通して学び、中学校英語の指導力の向上を図る。	3	30	津田塾大学
英語Ⅱ	中・特	中学校における英語教育の今日的な課題とこれからの指導の在り方について理解し、小学校や高等学校との円滑な接続を図る指導について学び、中学校英語の指	2	30	上智大学

		導力の向上を図る。			
英語Ⅱ	中・特	中学校における授業づくりの課題解釈について、模擬授業等を通じて学び、中学校英語の指導力の向上を図る。	2	30	
英語Ⅱ	高・特	高等学校における英語教育の今日的な課題とこれからの指導の在り方について理解し、中学校や大学との円滑な接続を図る指導について学び、高等学校英語の指導力の向上を図る。	2	30	上智大学
英語Ⅱ	高・特	高等学校における授業づくりの課題解決について、模擬授業等を通じてから学び、高等学校英語の指導力の向上を図る。	2	30	
英語Ⅱ	高・特	生徒に基礎的な学力を定着させるための、JET等とのチーム・ティーチングの指導法について学び、高等学校英語の指導力の向上を図る。	2	100	大学等
英語Ⅲ	中・特	中学校における効果的なネイティブ・スピーカーの活用や授業の工夫などについて学び、英語教育を推進する力を高める。	2	30	文京大学
英語Ⅲ	中・特	海外派遣者の実践報告等を通して、TESOL等の指導法を学び、英語教育を推進する力を高める。	2	30	大学等
英語Ⅲ	高	JET等のネイティブ・スピーカーの効果的な活用や授業の工夫などについて学び、高等学校における英語教育を推進する力を学ぶ。	2	100	大学等
英語Ⅲ	高	海外派遣者による実践報告等を通して、TESOL等の指導法を学び、英語教育を推進する力を高める。	2	200	
英語Ⅲ	高	東京の史跡等を巡って、英語でガイドをするポイントを学び、東京を英語で案内できる高校生ボランティア「東京イングリッシュガイド」を育成する力を高める。	4	50	外部専門機関
英語Ⅲ	高	東京の歴史を英語で紹介す	4	50	外部専門機関

		るポイントを学び、東京を英語で案内できる高校生ボランティア「東京イングリッシュガイド」を育成する力を高める。			
英語Ⅲ	小・特	外国人講師等との英語による会話等を通して、実践的な英語力を高める。	4	325	外部専門機関
英語Ⅲ	小・特	カフェテリア形式で外国人講師との会話等を通して、実践的な英語力を高める。	6	120	外部専門機関
英語Ⅲ	小・特	英語検定試験準2級を取得することを目標として、実践的な英語力を高める。	5	130	外部専門機関
英語Ⅲ	小・特	英語検定試験2級を取得することを目標として、実践的な英語力を高める。	5	90	外部専門機関
英語Ⅲ	中・特	外国人講師等との英語による会話等を通して、実践的な英語力を高める。	6	90	外部専門機関
英語Ⅲ	中・特	カフェテリア形式で外国人講師との会話等を通して、実践的な英語力を高める。	6	90	外部専門機関
英語Ⅲ	中・特	英語検定試験準1級を取得することを目標として、実践的な英語力を高める。	7	290	外部専門機関
英語Ⅲ	中・特	英語検定試験1級を取得することを目標として、実践的な英語力を高める。	7	155	外部専門機関
英語Ⅲ	高・特	外国人講師等との英語による会話等を通して、実践的な英語力を高める。	6	45	外部専門機関
英語Ⅲ	高・特	カフェテリア形式で外国人講師との会話等を通して、実践的な英語力を高める。	6	45	外部専門機関
英語Ⅲ	高・特	英語検定試験準1級を取得することを目標として、実践的な英語力を高める。	7	120	外部専門機関
英語Ⅲ	高・特	英語検定試験1級を取得することを目標として、実践的な英語力を高める。	7	60	外部専門機関
英語Ⅲ	高・特	TOEIC 730 点以上を取得することを目標として、実践的な英語力を高める。	5	30	外部専門機関
英語Ⅲ	高・特	TOEIC 860 点以上を取得することを目標として、実践的な英語力を高める。	5	30	外部専門機関

外部専門機関と連携した英語力向上のための教員研修(2講座)	中・高	英語科教員の英語によるコミュニケーション能力及び指導力の向上を図る。	6	25	一般財団法人
研修協力校における授業公開	小・中・高・特	英語教育推進リーダー等による授業公開により、中央研修の成果の全都への普及を図る。	6	300	研修協力校
還元研修(30講座)	小・中・高・特	英語教育推進リーダー中央研修受講者による研修実習(還元研修)により、中央研修の内容の全都への還元を図る。	210	750	平成26・27年度 英語教育推進リーダー 中央研修受講者
研修評価方法	<p>以下の4段階により評価する。</p> <p>○1段階(反応) 受講者アンケート、受講記録により、受講者の研修満足度を評価する。</p> <p>○2段階(学習) 受講者アンケート、所属校でのヒアリング等により、受講者の知識理解度や学習到達度を評価する。</p> <p>○3段階(行動) 実施報告書、所属校でのヒアリング等により、受講者の行動変容を評価する。</p> <p>○4段階(結果) 所属校でのヒアリング等に加え、所属校の児童・生徒への学習状況に関する意識調査により、児童・生徒への影響度を評価する。</p> <p>また、教員の実践的英語力向上を図る一般財団法人や外部専門機関との連携研修については、受講者が研修受講後に受験する英検、TOEIC、TOEIC Speaking、Writing等の英語力評価テストの結果からも評価する。</p>				
<p>② 英語力評価テストについて</p> <p>英語科教員の4技能の総合的な向上を図る一般財団法人との連携研修の受講者は、TOEIC、TOEIC Speaking、Writingを受験し、資格取得を目標として教員の実践的英語力向上を図る外部専門機関との連携研修の受講者は、英検準2級～1級、TOEICスコア730又は860取得を目的に、英語力評価テストを受験する。</p> <p>受験者数は955名を予定している。</p>					

(4) 年間事業計画

月	都道府県等の取組	外部専門機関等
4月	<ul style="list-style-type: none"> 平成 28 年度英語教育推進リーダー中央研修受講者の推薦 平成 26・27 年度英語教育推進リーダー中央研修受講者による研修実習（還元研修）の受講者の募集・決定 外国語活動Ⅰ・Ⅱ及び英語Ⅰ～Ⅲの受講者の募集 	
5月	<ul style="list-style-type: none"> 平成 26・27 年度英語教育推進リーダー中央研修受講者による研修実習（還元研修）の開始 外国語活動Ⅰ・Ⅱ及び英語Ⅰ～Ⅲの受講者の決定 	
6月	<ul style="list-style-type: none"> 平成 26・27 年度英語教育推進リーダー中央研修受講者による授業公開の実施（小・中・高：各 1 回） 	<ul style="list-style-type: none"> 研修協力校等
7月	<ul style="list-style-type: none"> 外部専門機関との連携研修の実施 外国語活動Ⅰ・Ⅱ及び英語Ⅰ～Ⅲの実施 	<ul style="list-style-type: none"> 一般財団法人等 連携大学等
8月	<ul style="list-style-type: none"> 外部専門機関との連携研修の実施 外国語活動Ⅰ・Ⅱ及び英語Ⅰ～Ⅲの実施 	<ul style="list-style-type: none"> 一般財団法人等 連携大学等
9月	<ul style="list-style-type: none"> 外国語活動Ⅰ・Ⅱ及び英語Ⅰ～Ⅲの実施（授業研究含） 外部専門機関との連携研修の受講者による TOEIC、TOEIC Speaking、Writing の受検 	<ul style="list-style-type: none"> 一般財団法人等 連携大学等
10月	<ul style="list-style-type: none"> 外国語活動Ⅰ・Ⅱ及び英語Ⅰ～Ⅲの実施（授業研究含） 	<ul style="list-style-type: none"> 一般財団法人等 連携大学等
11月	<ul style="list-style-type: none"> 平成 26・27 年度英語教育推進リーダー中央研修受講者による授業公開の実施（小・中・高：各 1 回） 外国語活動Ⅰ・Ⅱ及び英語Ⅰ～Ⅲの実施（授業研究含） 	<ul style="list-style-type: none"> 研修協力校等 一般財団法人等 連携大学等
12月	<ul style="list-style-type: none"> 外国語活動Ⅰ・Ⅱ及び英語Ⅰ～Ⅲの実施 	<ul style="list-style-type: none"> 一般財団法人等
1月	<ul style="list-style-type: none"> 外国語活動Ⅰ・Ⅱ及び英語Ⅰ～Ⅲの実施 教職員研修センターで実施した研修の動画配信の開始 	<ul style="list-style-type: none"> 一般財団法人等
2月	<ul style="list-style-type: none"> 平成 29 年度英語教育推進リーダー中央研修受講者の募集 	
3月		
【その他の取組】		

